

広報 いまり

昭和52年3月発行
発行所：伊万里市役所

毎月1日発行 定価1部20円 昭和52年3月1日 伊万里市役所総務部企画課発行

№. 277



「おはよう！今日は早かね、と声をかけると、
「おばちゃんおはよう、と声が戻ってくる。波多
津町交通安全母の会の皆さんと小学生のすがすが
しい朝の会話。ここ浦の四差路も車の普及で朝7
時から1時間に 200台が通過しています。出勤は
時間の余裕をみて早めに出かけましょう。」

52

3月

小学校南側に二里公民館が完成

2月28日から業務を開始

昨年10月に着工し、建設を急いでいた「二里公民館」が完成しました。

今までの公民館は、大正5年二里村役場として建設され、昭和29年4月の市制施行以来市役所二里出張所として使用してきましたが



老朽化したため二里小学校の南側に新築しました。

新しい公民館は、2,856㎡の敷地に、総工費5,510万円をかけて、鉄骨構造互ぶき平家建て763㎡を建設しました。

館内は、大小の会議室・25畳と14畳敷の和室・公民館と出張所の事務室・料理教室などの実習に使う調理室・298㎡のステージつき講堂などからなっています。

また、市役所出張所も同公民館の一室に移転しました。

広報こよみ

- 13日まで 春の全国火災予防運動
- 6日 スポーツフェスティバル 国体記念植樹祭(国見台)
- 7日 巡回行政相談(市役所3階第3会議室)
- 8日・22日 交通事故相談日(生活相談課)
- 9日 定例市議会招集(予定)
- 17日 無料法律相談日(生活相談課)
- 21日 春分の日

市内施設めぐり参加者募集

昭和51年度第2回目の「市内施設めぐり」を行います。今回は、大坪・大川内地区の皆さんです。参加ご希望の方は会費を添えてハヤメにお申し込みください。満員になり次第締め切らせていただきます。

- ▶日時と集合場所 3月28日(月曜) 松島町 市民会館
- ▶募集人員 100人 会費 800円(弁当代を含みます)
- ▶視察予定地 大川内山・伊万里陶業・市役所・国見台運動公園 竹の古場公園・東洋プライウッド・名村造船所など
- ▶申込先 市役所総務部企画課(3階・☎③ 2111・内線408)

今回は大坪・大川内の皆さん

分たちの町づくりは自分たちの手で、しかもそれには先ず自分たちの身の回りの生活環境からよくしようとする実践活動に踏み出しているグループがたくさんふえてきている。

わたしは、このような輪がどんどん広がれば、全体を覆うようになれば、どんなに住みよくなるか、どのようになるか、その広がりや心から期待している。いま、日本の犯罪は、次第に欧米化して凶悪となり、地方の犯罪は都市化しているといわれる。

もともと、日本の治安が安定しているのは、血縁の家族社会と地縁の地域社会が監視役となっているからとこのことであるが、そのいづれもが孤立化して、家族も近所も目かどかぬようになりつつある。

日本の治安がくずれ、地方の血縁、地縁社会がくずれると犯罪の防波堤がなくなるので、逆に地方のコミュニティづくりによってその影響を都会に及ぼし、日本の治安を確保して世界へ押し返さねばならない。

わが町をそうした世直しの震源地にしたいものである。

岡本さんら19人に表彰状

第2回市社会福祉大会

第2回伊万里市福祉大会（主催＝市社会福祉協議会）が、2月8日、市民会館で民生委員など350人が出席して開かれ、婦人民生委員の小宮三枝さん（東山代）ら5人の意見・体験発表がなされました。

また、大会席上で市社会福祉協議会長は、社会福祉事業に貢献のあった岡本藤太郎さん（脇田町）ほか18人の個人・団体に表彰状を贈りました。

※表彰を受けた方は次のとおりです。（順不同、敬称略）

●社会福祉事業に対する奉仕者

- ▷岡本藤太郎（脇田町）▷光田隆市（大坪町）▷原 米市（大川町）▷徳久寿一郎（二里町）▷力武觉次（東山代町）▷吉原友悦（東山代町）▷武藤弘（東山代町）▷山口 孝（山代町）

●社会福祉団体の役職員

- ▷松尾愛司（瀬戸町）▷久保シズエ（大川町）▷井手ソヤ（波多津町）▷田崎ヤエ子（木須町）

●社会福祉施設の職員

- ▷池田ハルコ（二里町）▷小

野幸子（東山代町）▷松永登

喜子（山代町）

●篤志行為による貢献者

- ▷伊万里学園高校（インターアクトクラブ）▷伊万里仏教会（立花町）▷山口しずえ・茂樹姉弟（松浦町）▷牧野敏昭（東京都新宿区戸山町）



国民健康保険証が変わります

新規加入・喪失はハヤメに

国民健康保険の被保険者証が4月1日から新しいもの変わります。

今使っている被保険者証は今月限りで使えなくなります。

新しく国民健康保険に加入する人、死亡などで資格がなくなった人があると思います。次に該当する人は、できるだけハヤメに出張所か市民課へ届け出てください。

▶加入届が必要な人

- ・会社などを退職し、社会保険の資格がなくなった人
- ・生活保護を受けなくなった人
- ・出生または転入した人

▶喪失届が必要な人

- ・会社などに就職し、社会保険に加入したい人
- ・生活保護を受けるようになった人
- ・死亡または転出した人

なお、大学へ在学中の人や施設などに入所している人も3月31日で無効になりますので、4月以降分については証明書をそえて新しい被保険者証の交付を受けてください。新しい被保険者証は、今月末までに駐在員（区長）さんへ送付します。今使っている被保険者証と交換で受け取ってください。

若い人たちのグループで
 独身時代は自分たちだけで五
 六人のつどいだったのが
 嫁を持ち子供をもつて、夫
 の両親、妻の両親を加えて
 いまや三十数人のつどいに
 発展しているグループがあ
 る。そして、これからは、
 さらに社会的活動に踏み出
 すことを誓い合っていた。
 わたしもいろいろの会合
 に出るが、夫婦両方の両親
 を迎えてのグループ活動は
 余り見かけたことがない。
 わたしは、挨拶で「こうい
 う若者は必ずいい運命が開
 けてくるに違いない」と確
 言した。

また、先般は、若い主婦
 の方々が、ともすればゆが
 められてゆく情報化社会か
 ら子供たちを健全な知情意
 の世界に導こうと「伊万里
 子供劇場」をつくることで
 相談にこられた。

そのほかにも、ふるさと
 を見直し、受け継ぎ、育て
 ようとクラブをつくり、自



波多津町交通安全母の会表彰される

飲酒・暴走・無免許追放を誓う

第11回交通安全県民大会

第11回交通安全県民大会（主催＝県・県警本部など）が、2月15日、県下各地から交通安全指導員・交通安全母の会・職場

や事業所の安全運転管理者など約1,600人の参加をえて唐津市文化会館で開かれました。

この大会は、84万県民の交通安全意識を高め悲惨な交通事故の絶滅を図るために毎年開かれています。主催者を代表して香月副知事は、「死亡事故の大半は、飲酒と暴走に起因しているというまことに憂慮すべき状態にある。この大会を契機に交通安全意識をいっそう高め、交通事故のない明るく住みよい郷土づくりをしてほしい。」とあいさつしました。

席上、街頭指導や町内広報活

動など交通安全思想の普及徹底と無事故運動を推進した波多津町交通安全母の会（井手キヌ会長＝617人）と30年の長い間、



▶参加者に呼びかける井手会長◀

無事故運転を続けた木須町の村上幸一さん（49歳）・交通安全功労団体として伊万里市交通対策協議会が表彰を受けました。

意見発表では、交通事故で中学生になる子どもを亡くした母親の訴えなどがあり、参加者の涙をさそいました。全員一致で次の交通安全憲章を採択し、交通事故の絶滅を誓いました。

＝ 交通安全憲章 ＝

- ▲私たちは、つねに安全運転に努め、飲酒・暴走・無免許の交通三悪を追放します。
- ▲私たちは、家族みんなで「交通安全」を約束しあい、子どもや老人・体の不自由な人々に愛の一声と手だすけを惜まず、交通事故から守ります
- ▲私たちは、よい交通環境をつくり、これを正しく利用することに努めます。

6月から新しい電話帳に

3月20日 原稿締切り

50音電話帳が6月から新しくなります。電話帳の掲載名を変えたい、屋号や家族の名前も重複して載せたいなど、ご希望の方は3月20日までにお申し出ください。

重複して載せる場合は一つの掲載ごとに年間500円となっています。

●お申し出先 ▲伊万里電報電話局営業課（☎③4240）

▲南波多・松浦・大川野郵便局（☎大川野42番）

※電電公社で発行する電話帳の広告募集は次の要領で行います

お間違えのないようお願いいたします。

▲電報電話局長の証明書を持った電気通信共済会の係員がお伺いします。

▲公社は広告料の前金はいっさいいたしません。

▲広告料は電話帳の発行後に電話料といっしょに請求いたします。

“たばこ、は
市内で買ひましよう
1箱（20本入り）を市内で
買うと、16円06銭が道路や学
校など建設の財源になります。

県下七市の交通事故（51年）

市名	発生件数	死者	負傷者
佐賀	1,112	18	1,361
唐津	636	14	847
鳥栖	458	4	620
伊万里	295	4	387
鹿島	182	4	224
武雄	176	4	247
多久	139	7	179

夜間の交通事故を防ごう

死亡事故件数は昼間と同じ

夜間は、自動車の交通量が少なく昼間に比べて交通事故の発生件数は少ないのですが、死亡事故は、昼間と同じくらいの件数が記録されています。

自動車運転者はもちろん、自転車利用者や歩行者も、事故を起こしたり被害にあわないよう注意したいものです。

自動車運転者へ

▶**飲酒運転をしない・させない**
飲酒運転は交通死亡事故の3大原因の一つとなっています。「飲んだら乗らない」「乗るなら飲まない」「運転する人には飲ませない」という鉄則を守りたいものです。

▶スピードは控えめに

夜間は交通量が少ないので、見通しが悪いのにスピードを出しがちです。また、多くの光線が交錯するので運転者からみて歩行者や自転車利用者が蒸発現象を起こすことがあります。

歩行者などの動きに十分注意し、運転しましょう。

▶過労運転にならないように

昼間に比べて過労運転になりがちです。運転途上で適当な休

憩時間をとることもたいせつです。

▶**シートベルトを必ずつける**
シートベルトは運転者の命綱です。同乗者もベルトをつけ万一の事故に備えましょう。

歩行者へ

懐中電燈を携行したり、服装も白っぽいものにして夜光反射テープを足元に貼布するなど、夜間でも運転者から見えやすいようにしましょう。

自転車利用者へ

ライトを必ずつけ、夜行テープを自転車に貼布するなど遠くからでも目立つようにしておきたいものです。

転入・転居届は14日以内に

例年、3月と4月は、進学や就職・転勤などで住民異動の多い時期です。

昨年、この時期に年間の26%に当たる850件の転入・世帯分離や合併を含む転居届がありました。そのうち、届出期限の14日間を超えたものが31件(年間232件)もあり、住民登録事務に支障をきたしました。

住民基本台帳法は、「転入をした者および転居をした者は、その日から14日以内に市町村長に届け出なければならない」と規定し、届出期限の14日間を過ぎると遅れた理由を記入した書類を伊万里簡易裁判所に提出しなければなりません。

このように、市民課窓口での手続きが複雑になるばかりか法律で処罰されることにもなりご迷惑をかけます。必ず、期限内に届け出を済ませましょう。

また、届け出る時は、左記の関係書類も忘れずにご持参ください。

種類	持参するもの(○印)					届出期間
	印鑑	国保 保険証	国民年金手帳 または受給者証	母子 手帳	老人医療 受給者証	
転入届	○	○	○		前住地の 所得証明	14日以内
転居届	○	○	○		○	14日以内
転出届	○	○	○		○	転出する 以前
出生届	○	○		○		14日以内
死亡届	○	○	○		○	7日以内
世帯変更	○	○			○	14日以内
社会保険の 加入脱退時	○	○			○	14日以内
厚生年金の 加入脱退時	○		○			14日以内

—480円で最高80万円の補償—
市民交通傷害保険にご加入を

申し込みは4月1日から

交通事故は、加害者や被害者はもちろん、その家族までも悲惨な生活に追い込まれます。

昨年、市内で発生した交通事故は295件で、死者4人・けがをした人は387人に達し、そのほとんどが治療費や補償などの問題で苦しい生活をおくっています。

こうした問題をいくらかでも救済するために、市は少ない保険料（掛金）で加入できる「市民交通傷害保険」をすすめています。

保険料は年間480円で、6か月以上の治療を要した時は12万円の保険金が支払われます。

交通事故にそなえ家族そろって加入しましょう。

●**保険金（掛金）**

▲一人1年分……480円

●**支払われる保険金**

▲事故にあった日から180日以内にその傷害がもとで死亡した時……80万円

▲事故にあった日から180日以内にその傷害がもとで次の後遺傷害を残した時……50万円
 ・両眼または一眼の失明。

・両耳の聴力を全く失なった時
 ・そしゃくまたは言語の機能を全く廃した時。

・一腕（手関節より上部）または一脚（足関節より上部）を失なった時。

・その他身体の著しい障害により終身自用を弁ずることがで

きない時。

▲治療期間に応じて5,000円から12万円の補償

●**保険補償の有効期間**

昭和52年5月1日から昭和53年4月30日までです。年の中途でも加入できます。

現在加入している方の保険期間は昭和52年4月30日までです。そのため、4月1日から改めて加入の受け付けも行います。

交通傷害保険は、住民基本台帳に記載された人または外国人登録をしている人は、どなたでも加入できます。

●**申込方法**

市民課または出張所・市税など市の収入金を取り扱っている銀行・相互銀行・信用金庫の窓口で受け付けます。印鑑・保険料ご持参のうえお申し込みください。

なお、申込用紙は4月上旬に駐在員（区長）さんを通じて各家庭に配布します。

※詳しいことは、市民課の窓口（☎③ 6111 ~ 6113）または出張所へお問い合わせください

必読！水洗便所をお持ちの方

3月14日から各町公で講習会

伊万里保健所は、し尿浄化槽（水洗便所）を正しく使っているため、次の日程で維持管理講習会を開きます。

し尿浄化槽は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」によって十分に管理し、水質基準に合った水を放流しなければなりません。

し尿浄化槽を設置している方これから取り付けようと考えている方は、都合のいい会場で必ず受講してください。

▶**日時と場所**

- 3月14日 山代公民館（東山代町・山代町）
- 〃 15日 黒川公民館（黒川町波多津町）
- 〃 16日 大川原公民館（南波多町・大川町・松浦町）

- 〃 18日 中央公民館（蓮池町新天町・二里町）
- 〃 22日 中央公民館（伊万里町甲・伊万里町乙）
- 〃 24日 中央公民館（松島町立花町・大坪町・大川内町・瀬戸町）

※時間 13時30分～16時

3月市民会館行事予定

- 13日 18時～21時
 ・明大マンドリン演奏会
- 20日 9時～17時
 ・ピアノおさらい会（つくし会）・前田益美
- 21日 14時～16時
 ・伊万里子ども劇場（伊万里子ども劇場準備会）
- 27日 13時～20時
 ・細川たかしショー（ロイヤルフォート）

救急車の要請は短かく要領よく

昨年の救急出動641件

— 大半は急病・交通事故の負傷者

市消防署は、昭和51年中の救急車の出動状況を発表しました。出動件数は641件・急病人や交通事故などの傷病者598人を搬送しました。

前年に比べて87件・77人ふえました。

事故別にみると、急病人233人・交通事故205人・一般負傷62人・病院から病院への転送53人・工事現場などでの労働災害11人などで、急病人や交通事故による傷病者の救急が全体の68%を占めました。

これは、市民102人に1人が救急車で搬送されたこととなります。

50年と比較して目立つことは急病人の搬送が減少し、交通事故や病院から病院への転院搬送が急激にふえたことです。

町別では、交通が混雑する国道沿いの救急活動が多く、142件の大坪地区を最高に、伊万里74件・二里63件・瀬戸49件となっており、少ないのは南波多地区の13件でした。

月別にみると、8月の80件が最も多く、12月66件・10月61件・3月60件・1月の57件が目につきます。2月の39件が最低でした。また、1週間の救急出動状況は、依然として日曜日が122件・月曜95件・火曜と土曜がそれぞれ91件で、一日のうちで一番多いのは午後4時から6時までの88件となっています。

救急活動業務を47年の300件と比較すると、5年間に2.1倍(641件)になっており、51年中に、1日平均2件の救急活動をしたこととなります。

事故別には、交通事故の搬送が平均して多いのに比べ、47年87件と少なかった急病人の搬送が、50年には3.2倍の271件となり、その後平行線をたどっていることです。

消防署からお願い

51年中の救急活動をふりかえると、救急車で搬送しなければ生命の危険があるとは思えないものがかなりありました。

現在、救急車は本部に2台しかありません。時間を争う緊急

●年金コーナー

国民年金の保険料が2,200円に

国民年金の保険料が、今年の4月分から1か月につき2,200円に改められます。

国民年金は、給付費の3分の1を国庫が負担していますが、昨年10月から老齢年金を始めとして、各種年金の額が大幅に引き上げられたこともあって、かなりの保険料引き上げが必要となりました。

しかし、皆さんの負担が急にふえることを避けるため、今後とも毎年、段階的に引き上げるこ

多久島消防長が勇退



1月31日付で、多久島俊次氏(前消防長)が退職しました。

多久島氏は、昭和25年3月東山代村役場に入り、合併後は、社会教育課長補佐・伊万里公民館長・消防署長・消防長などを歴任しました。

特に、昭和43年12月から消防行政に従事し、組織の近代化・消防庁舎の建設に精魂を傾けました。

の場合以外は救急車の要請をひかえ、非常時にそなえるようご協力をお願いします。

また、出動要請の場合は、要領よく短時間に場所を伝えましょう。

とにしています。

国民年金制度をよりよくするため、保険料の納付にご協力ください。



市の人口

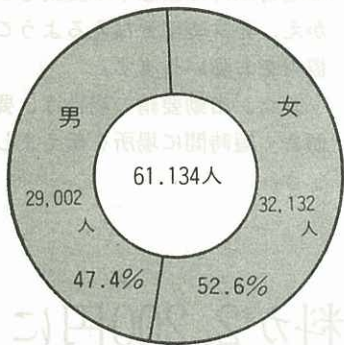
(2月1日現在)

総人口	61,230人
男	29,048人
女	32,182人
前月比	+96人
世帯数	15,913人

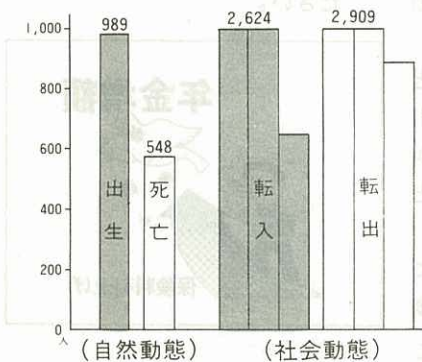
人口動態

昨年1年間の自然動態(出生-死亡)は441人の増加、社会動態(転入-転出)は285人の減少で差引き158人(0.3%)の増加となっています。(職権記載・消除で2名加えています。)

〔グラフ1〕男女別人口
(昭和52年1月1日)



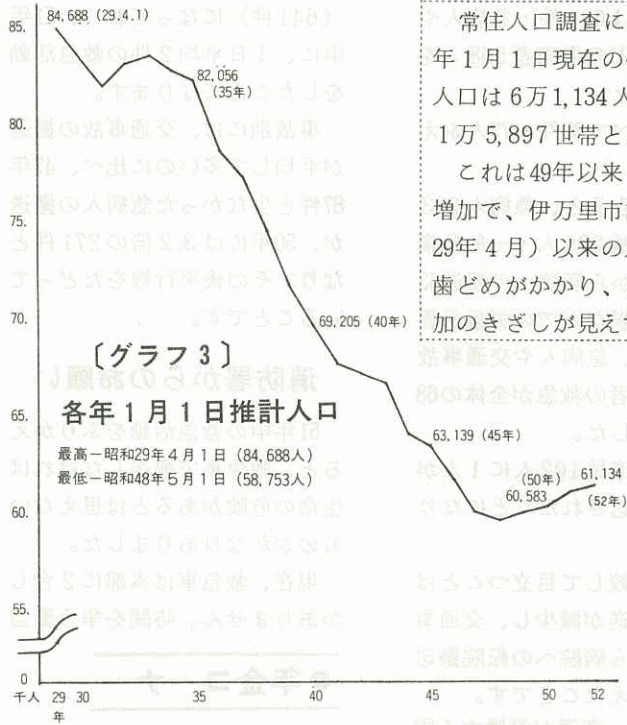
〔グラフ2〕1年間の人口動態
(昭和51年)



グラフで見る伊万里市 その2

市の人口4年連続の増加

市の人口の推移



常住人口調査による昭和52年1月1日現在の伊万里市の人口は6万1,134人、世帯数は1万5,897世帯となりました。これは49年以来4年連続の増加で、伊万里市誕生(昭和29年4月)以来の人口減少に歯どめがかかり、ようやく増加のきざしが見えてきました。

〔グラフ3〕各年1月1日推計人口

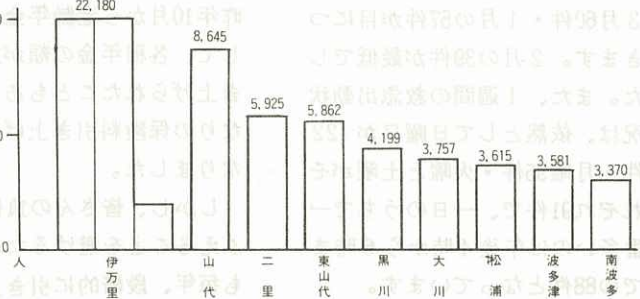
最高-昭和29年4月1日(84,688人)
最低-昭和48年5月1日(58,753人)

人口の推移

市制施行以来人口が減少したおもな原因は、あいつぐ炭鉱閉山と若年層に魅力ある地場産業がなく大都市中心に流出した

ためです。昭和48年5月、5万8,753人と最低を記録した人口は、大型企業の進出と自然動態に支えられて増加の傾向をたどっています。

〔グラフ4〕町別人口 (昭和52年1月1日)



シルバーホーンお目見え

耳が不自由な方のための公衆電話



難聴の方でもはっきり聞こえる公衆電話が、1月27日、市老人センター（ことぶき荘）に取り付けられました。

これは、シルバーホーン（めいりょう）と呼ばれ、外見は普通の公衆電話と変わりませんが相手の声を自分の聴力に合わせて高くできる調整機器が、送受話器に組み込まれています。

3月末までに、全国で470個取り付けられる計画です。

◆不用品の登録状況◆

ゆずります カラーテレビ・都市ガス用風呂釜・

風呂・湯わかし器・テープレコーダー・コーラケース・石油ストーブのガード・水冷式クーラー・窓取付用クーラー・都G用オープン・ミシン3・編機4・乳母車・あて名印刷機・タイヤ2・スポーツバッグ・電話権・ねんねこ・ウール着物・着物・蚊帳・ふとん綿古2・夜具一組ベビーダンス・ショーケース・コンビラック3

もとめます ガス風呂釜2・箱火鉢・テープレコーダー・プレーヤー・扇風機4

掃除機・電気コタツ・冷蔵庫・小型冷蔵庫・クーラー・ファンクーラー・木製机・子供用いす陳列ケース2・アルミサッシ・組立用ブランコ2・二段用ベッド4・書棚・洋服ダンス・コンビラック・剣道防具・オルガン5・ピアノ2・ランドセル黒・

町別飲酒運転検挙者数

(昭52.1.31現在 伊万里警察署調)

町名	51 1月~12月	1月
伊万里	32	3
黒川	12	0
波多津	6	0
南波多	10	1
大川	11	0
松浦	11	0
二里	14	0
東山代	10	1
山代	15	0
(市外)	54	8
計	175	11

石炭ストーブ・平板測量機一式
英文タイプライター・子供用自転車7・子供用二輪車・婦人用自転車6・男性用自転車6・乳母車2・ミシン2

家庭児童相談室のご案内

すべての子どもが問題なく健全に育つように、もし問題があっても早めに気づき、早い時期に治療できるよう福祉事務所に家庭児童相談室を開設、専門の家庭児童相談員2人と社会福祉主事が、家庭児童の相談に応じています。

●相談内容

- ・家庭環境に恵まれない児童の養護相談
- ・肢体不自由の相談
- ・精神薄弱の相談
- ・言語視聴障害の相談
- ・性向、しつけの相談
- ・不良行為・非行に関する相談
- ・自閉症の相談など

※相談は一切無料です。直接または電話でご相談ください。

(3) 2111 内線 265)



1月

1月は総額43億2,300万円（輸出33億9,200万円・輸入9億3,100万円）で、先月に比べ7億2,400万円の減です。

輸出

先月と同じく船舶1隻の輸出です。

輸入

原木の南洋材7億5,800万円・米材1億4,400万円それに船舶用部品2,300万円と韓国からカオリン500万円が入りました。

船舶の入港

日本船2隻、外国船7隻（パナマ5・韓国・リベリア各1）の計9隻です。12月比4隻の減、前年同期比9隻の減となっています。（唐津税関支署伊万里出張所）

(伊商・伊農・有工)

定時制高校第2次募集

受付 3月24日～4月5日

伊万里商業・伊万里農林・有田工業高校は、次の要領で昭和52年度第2次定時制生徒を募集します。

中学を卒業後、家業や会社などに就職し働きながら高等学校の教育を受けたい方ならだれでも応募できます。

▲願書受付 昭和52年3月24日～4月5日

▲学力検査 昭和52年4月6日 13時
(作文および面接)

▲合格発表 4月7日

- ・修業期間 4か年
- ・修業時間 17時30分～20時35分 (伊農高は昼間)

- ・働きながら学んで高等学校の卒業資格が得られます。
- ・男女共学で年齢制限はありません。
- ・教科書は無償給付で完全給食です。
- ・修学奨励金月5,000円が貸与されます(卒業すれば返済の必要はありません)

▲問合先

- ・伊万里商業高校 (☎③ 5193)
- ・伊万里農林高校 (☎③ 4138)
- ・有田工業高校 (☎ 09554 ② 3136)

洋裁を習ってみませんか

52年度の中央婦人学級生(洋裁婦人学級生)を次の要領で募集します。

▲資格 市内に居住の一般家庭婦人

▲定員 70人

▲学習日 毎週1回(月曜か火曜日・9時30分～15時)

▲場所 市中央公民館

▲申込期日 3月22日～25日

▲学習内容

- ・洋裁 初めて洋裁を習う方に限ります。
- ・一般教養の学習

▲主催・申込先 市中央公民館 (松島町☎② 7108)

※ご希望の方は印鑑をご持参ください。

廃車や名義変更は早めに

軽自動車 など (50cc～360cc)

軽自動車など(二輪車・農作業車を含む)を、4月1日現在で所有されている方には軽自動車税がかかります。

廃車や名義変更をされる方がまだ手続きがお済みでない方は3月末までに済ませてください

原付自転車(50cc～125cc) 農耕車・その他の小型特殊車は市役所税務課で、原付自転車を除く二輪・三輪・四輪車は県陸運事務所、または伊万里自家用車組合・行政書士事務所で手続きができます。

手続きの時は、ナンバープレート・車検証・印かんをご持参ください。なお、3月中に手続きが済まない場合は税金がかか

りますのでご注意ください。

※市役所税務課管理係

(☎③ 2111 内線 233)

巡回行政相談のご案内

国や県・市など役所の仕事で不当な処分を受けた・納得できない・手続きがわからないなど苦情やその他意見のある方は気軽に相談ください。

相談は無料で秘密は守ります。

▲日時と場所 3月7日(月) 10時～15時・市役所3階第3会議室

▲相談担当者

- ・行政相談員 岩本判三氏
- 池田日出雄氏
- ・佐賀行政監察局職員

成人病・妊婦健康相談

次の日程で2か所ずつ行います。午前中は成人病相談、午後には妊婦健康相談です。

▲期 日

3月15日 南波多出張所・黒川公民館

3月22日 山代公民館・松浦公民館

▲成人病相談内容

血圧測定、検尿、高血圧知識の普及と予防など。

※時 間 10時～11時30分

▲妊婦健康相談内容

妊娠、分娩、産褥期の保健衛生、新生児の保育など。

※時 間 13時～14時30分

●母子手帳をご持参ください。

(百日せき・ジフテリア・破傷風)
三種混合予防接種
 3月は11日と18日

幼児の三種混合予防接種を毎月第2・第3金曜日、13時30分から14時30分まで市役所4階大

同和教育は、部落差別をなくして被差別部落を解放する教育です。一人ひとりの人間を大事にし、お互いの人権を守って、差別のない明るい民主的な社会をつくりあげるための教育でもあるのです。

この意味から、同和地区のないところでも「同対審」の答申や同和对策事業特別措置法の趣旨に基づき、町民の一人ひとりの課題としてその解決に取り組んでいかなければなりません。

そのためには、私たちみんなが「同和問題とはなにか」を学習によって正しく認識し、心の中に残っている差別意識を取り除き、部落に対する偏見と予断をなくすようにしなければならぬと思います。

伊万里市は、昭和49年から2か年間、同和教育推進地域として文部省の委嘱を受けましたが、東部地区の大川、松浦、南波多が重点地域に指定され、私たちの町でも昭和49年7月、大川、松浦と同じように自主的な民間サイドの研修団体として「同和教育推進協議会」を設立しました。区長さんや公民館運営審議会委員・婦人会・青年団・老人クラブ・小中学校の代表からなる45人で組織しています。

南波多町は、同和地区がないので「同和問題とは関係ないじゃないか」という住民意識の中で研修を進めるのはたいへん不安な思いで、はたして皆さんが学習会に参加してくれるか心配でした。

これまで、公民館では、婦人学

会議室で行っています。

該当幼児は次のとおりです。

- ▲1期 2歳～3歳までに3～8週間の間隔で3回接種
- ▲2期 4歳未満の幼児で1期

級や家庭教育学級・老人クラブなどで何回か研修してきましたが、昭和49年の末に、町民一人ひとりに部落問題を正しく教えて、ねた子を起こさなければいけないと考え、全町の部落懇談会の日程を組み、夜間の学習会に取り組みました。

第1回は、部落の歴史「部落はだれが、なんのためにつくったか」を中心に初歩的な学習を行ない、2年目は、「差別と人権の歴史」などの映画を教材に、部落差別の現実・今日まで残された理由・同

**同和問題を正しく
理解するために**

(19)

＝南波多同推協3カ年の歩み＝

対審の答申・特別措置法など一歩進んだ学習をしてきました。

懇談会では、初めて「部落」のことを聞いたという人もありましたが、2回目になるといろいろ活発な発言がありました。出席率は平均90%で町ぐるみの学習会ができたと思っています。

部落懇談会での主な質問や意見をひろってみますと、▶町内では「部落」のことは知らない人が多いので、今さら懇談会で知らせる必要はないのではないかと。▶差別差別というが、もう差別はないと思う。自分も差別はしていない。▶われわれ農民がいちばん苦しめられてきたのだ、現在も部落の人以上に生活にあえいでいる。▶部落の人は、昔から人間以外の人間としていたげられてきたので今その償いを国に要求しているのだろうかなど、いろいろ生の声が出されました。

終了後1年～1年半までに1回追加接種

- ▲母子手帳を必ず持参ください
- ▲お尋ねは市環境衛生課保健予防係 (☎③ 2111 内線 281)

1回目の学習で、「部落差別とはなにか」について、一応理解していただいたと思いますが、やはり皆さんの意識の中には、「部落はこわいところだ」「できるなる自分たちはこの問題にはかかわりたくない」といったものがあるようです。今回は、特に、私たちの日常生活の中にあるいろいろな差別を掘り起こし、差別のない明るい家庭づくり・町づくりを中心に学習を進めています。

51年度は、主として町の各種団体の役員を対象に指導者として3回目の部落懇談会を実施しています。同じ人間どうしが、「軽べつする」「見下げる」「のけものにす

る」といった身近な差別に気付いていない人も多いようです。私もこれまでいろいろな研修会に参加して、同和問題について一応理解できていると思いますが、自分が直接この問題にかかわった場合は、たして理解しているとおりのことが実践できるか、自分自身を問いつめながら反省することが多いようです。

同和問題の解決は、非常にきびしい遠い道のりだと思いますが、教育の力によってこれを解決するほかはないと思います。これからも「同推協」が中心になり、同和問題を町民一人ひとりが自分のものとしてとらえるため、学習を深めていきたいと思っています。このことが、南波多の明るい住みよい町づくりの基本になると信じています。

南波多町同和教育推進協議会

会長 前田一男

広報の配布は
できるだけ早く

大川町一市民

最近、「広報いまり」や「市役所だより」の配布が遅くて困っている。二月号「広報いまり」を例にとると、配布されたのが二月十四日で、受診しようと思っていた子宮ガン集団検診は、すでに九日大川公民館で済んでいた。

市は、「広報いまり」や「市役所だより」をどのような方法で各家庭に配布しているのか伺いたい。

〔おこたえ〕
広報は、市政の状況や予防接種などの行事を掲載し、市民の理解と協力を求める重要な役割を持っています。したがって

企画課長

秘密は守ります。投稿される方は、住所、氏名をご記入ください。



大川町の場合、「広報いまり二月号」は、一月三十一日に印刷所から出張所へ直送し、四日の区長会で配布されていますが、区長から班長または月当番各家庭へという配布経路で、関係者の多忙が理由で一部の地域において遅れたのではないかと思います。

早く家庭に届くことが使命です。

「広報いまり」は、その月の十日から二十五日まで、「市役所だより」は、二十日から翌月の十日ごろまでの予防接種など連絡事項を掲載しており、十日ほどの余裕期間をみています。

市民のページ

市上土井町827の2 伊万里郵便局郵便課(☎3006)へご応募ください。

抽選の結果10人に記念品を贈ります。

なお、当選発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

住所は省略せず書きましょう

郵便局からのお願い

住所が省略されているため郵便物の遅配がふえています。

手紙は、住所を省略せず詳しく書きましょう。

特に郵便の場合は、伊万里町甲○○番地とせず、元町・今町と記入することがたいせつです

〔悪い例〕

848 伊万里市立花町1940

〔良い例〕

848 伊万里市立花町立花台地1940

県営住宅RC1-23

＝ 郵便クイズ ＝

官製はがきや郵便書簡を書き損じたり汚した時(切手に相当する部分を除く)は、手数料を払うと新しいものに交換できます。

▶ところで、はがきの交換手数料

は何円でしょう。次の中から選んでください。

・2円 ・3円 ・4円

▶応募方法

官製はがきに住所・氏名を記入の上、3月15日(消印有効)までに、郵便番号848 伊万里

ソフトボール協会登録申込み

3月10日までに協会事務局へ

市ソフトボール協会は、昭和52年度の登録申込みを次の要領で受け付けます。

▲申込期限 3月10日

▲申込方法 各町公民館で準備

▲申込先 松島町・古賀常六方(☎32393 年間登録料の3,000円を添えてお申込みください)

※第1回市内事業団ソフトボール大会

・3月13日(日) 国見台球場

・申込期日 3月4日

・監督会議 3月4日 18時

市中央公民館

・参加料 3,000円

●同協会は年間13大会の行事を予定しています。

市民ロビーで市長と会う日

3月は定例市議会が開かれるため「市民ロビーで市長と会う日」は休ませていただきます。市に対するご意見などありましたら生活相談課へご連絡ください。(☎3) 2111内線225)

次の方からご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

社会福祉事業費へ

- 香典返しを寄付
 - 。斎藤重保(伊万里町浜町)
 - 。長男春風)
 - 。中村十郎(伊万里町浜町)
 - 。妻タエ)
 - 。山崎親之(大坪町上古賀)
 - 。祖母ハツ)
 - 。川崎ヒサヨ(松浦町中野)
 - 。原 亡夫惣右エ門)
 - 。浦川藤八(東山代町久保)
 - 。亡妻スズ)
 - 。池田良寿(波多津町辻)
 - 。亡父忠兵衛)
 - 。土井脩義(山代町久原二区)
 - 。亡父三代治)
 - 。武藤友平(東山代町長浜)

- 亡父健次)
- 。山田ハル(脇田町脇田)
- 。亡夫熊一)
- 。小旗定五郎(黒川町塩屋)
- 。亡妻フイ)
- 。井本文夫(東山代町久保)
- 。亡父文治郎)
- 。原口鉄雄(松浦町上原)
- 。亡義父高一)
- 。村井ミツエ(大川町立川)
- 。亡夫柴田實)
- 。岩野 界(黒川町長尾)
- 。亡父幾石エ門)
- 。西田正義(二里町川東)
- 。亡父政次)
- 。津上康男(大坪町柳井町)
- 。亡父敬一)
- 。吉原道弘(大坪町屋敷野)
- 。亡父清次)
- 。山口正弘(東山代町脇野)
- 。亡母クラ)
- 。山口賢蔵(黒川町真手野)
- 。亡母ハツヨ)
- 。松尾重雄(大川町川原)
- 。亡父健一)
- 。樋渡作蔵(大坪町屋敷野)
- 。亡母フミ)
- 。池上作馬(東新町)
- 。亡妻サミ・日赤佐賀県支部指定)
- 。道山義春(山代町桶久津)
- 。亡妻美智枝)
- 。力武徳松(大坪町白野)

- 亡妻シヲ)
- 。川内訓人(山代町久原)
- 。亡父福一)
- 。筒井 巧(山代町城)
- 。亡母ツル)
- 。近藤順司(黒川町黒塩)
- 。亡母ヨシ)
- 。原田典佳(黒川町黒塩)
- 。亡父村吉・黒川町老人クラブ指定)
- 。高森 剛(波多津町辻)
- 。亡父寅造)
- 。池田元久(大川町川原)
- 。亡父忠吉)
- 。古田一義(大川内町正坊)
- 。亡父常十)
- 。土井 正(山代町桶久)
- 。亡母ヨシ)
- 。田中和徳(波多津町辻)
- 。亡父正一)
- 。緒方俊夫(松浦町桃川)
- 。亡母チヨ)
- 。吉武 徹(瀬戸町中通)
- 。亡父末雄)
- 。江口茂美(松浦町中野原)
- 。亡母マス)



ありがとう

ございました

- 。野口利郎(二里町八谷堀)
- 。亡母キノ)
- 。井上ツタエ(東山代町長浜)
- 。亡夫儀一)
- 。川原幸夫(山代町浦の崎)
- 。亡妻クニ)
- 篤志寄付
 - 。壹万円 伊万里カトリック幼稚園園児一同(二里町八谷堀 恵まれないお友だちへ)
 - 。貳千円 梶山芳子(二里町八谷堀 拾得金満了につき)
 - 。五百円 石井照子(松浦町桃川 拾得金満了につき)
 - 。参千五百円 牧野敏昭(伊万里警察署経由)

- 篤志寄付
 - 。五百円 匿名(栄町)
 - 。壹万円 中島紘一(新天町六五四)
- 篤志寄付
 - 。平戸つじ(五年生二百本山口卓次(松浦町中野原))
- 篤志寄付
 - 。峯 清治(二里町古子)
 - 。亡二男俊一)
 - 。西田正義(二里町川東)
 - 。亡父政次)
- 東山代公民館建設資金へ
 - 香典返しを寄付
 - 。吉武福三(東山代町川内野)
 - 。亡父藤七)
 - 。山口正弘(東山代町脇野)
 - 。亡母クラ)
- 山代町コミュニティセンターへ
 - 香典返しを寄付
 - 。金子シズ(山代町東分)
 - 。亡夫次市)

(累計一〇三万五〇〇〇円)

(昭52・2・17現在)

こどもページ

大里剣道(小学低)晴れの優勝

スポーツ少年団第7回剣道大会



市スポーツ少年団の剣道大会が、2月11日、国見台体育センターで開かれ、団体戦は小学低学年大里剣道・小学高学年久原剣道・中学生山代中学Aがそれぞれ優勝しました。個人戦の成績は次のとおりです。(敬称略)

- 小学生低学年(4年生以下)
 - ・優勝 牧瀬省吾(大里)

- ・2位 清水嘉浩(〃)
- ・3位 中村和生(錬心館)
- 小学生高学年(5年以上)
 - ・優勝 三戸谷京美(伊万里)
 - ・2位 林 正広(修武館)
 - ・3位 梶原貴英(脇野)
- 中学生
 - ・優勝 松野勝美(山代)
 - ・2位 中村広行(〃)
 - ・3位 金子 直(大里)

「名にしおはば 逢坂山のさねかずら 人にしられでくるよしもがな」
 「はい!」
 祖母の手がさっと伸びる。これはわが家で最近はじめた百人一首のかるたとり風景です。夕食後のひとときを、こたつの上にとり札をならべるのは私の役目、

読み札は、父と母とが交替して読みます。時々、母は読みながら下の句をさがしてはさっととり、私たちを面くらわせてしまいます。でも、とり札の成績は、私が良い方です。四十歳を過ぎた父や母には、何か楽しい思い出もあるのか読む声にも力が入ります。父の得意な句は、「あらざらむ 此の世のほかの思ひ出に 今一たびの逢うこともがな」

母も負けずに、「逢ひみての 後の心にくらぶれば 昔はものを思はざりけり」と追いつちを見ると、まだまだ若いんだなあとおかしくなります。



「家庭の日」
松浦中学校一年 馬場 尚美

私の好きな句は、まだ、歌の意味がよくわからないので、どれだとは決まっています。でも、一日のうちで一番明るくなごやかな一家庭らんらのひとときです。今までは、食事をしながらテレビを見ることが多く母が、心をこめておいしく食べてもらおうという努力を思いやることもなく、テレビに心をうばわれて、はし運びもそろの私たちでした。母は、そんな私を見て、「テレビは、ごはんのおかずではないよ」と注意することもしばしばでした。また、小学校の頃、テレビを見ながら宿題をして、間違っってはよくしかられたものです。今になってやっと、「ながら勉強」をすることは注意力に欠けるといことがわかってきました。

わが家では、一日のうちゆっくり顔を合わせるの夕方なので、夕食後のひとときをたいせつに使うように心がけています。

まず、今日一日の反省を交換したり、家族で話し合う場にするのもこの時です。私が提案し、実行されているものに、広告紙などの廃物利用とか、何か買ってもらいたいものについてなどですが、この百人一首の

かるたも私の提案で買ってもらいました。家中が楽しくすごせてよかったなあと思っています。

新聞やテレビなどで、毎日のように暗いニュースを耳にします。私は、この世の中がもっと明るく住みよくなるには、まず、自分の足もとから明るくする努力を続けなければいけないと思います。家族の一人ひとりを思いやる心が家から町へ、明るく助け合い

の小さな親切の輪となって広がって行くのではないのでしょうか。「ありましょうか」「どうぞ」「すみません」の

あいさつが人間の心を明るく豊かにしてくれると思います。私は、これから冬に向かい、家族そろってなわとび運動をする提案を出そうと考えています。家族の一員として、明るい家庭生活を目指して努力していきたいと思っています。

※冬の青少年育成強調月間作文コンクール中学生の部で一位となった作品です。